

1 はじめに

1.1 はじめに

今回のアンケートは、図書館に対する利用者の意見・要望を把握するため、図書館機構が主体となり全学で実施された。ただし、回答用紙の配付・回収および入力済データの集計は各図書館・室が中心となって実施された。本報告書は、集計結果の考察に加え、文学研究科図書館（以下「当館」という。）の試みた配付・回収等の方法を省察するものである。利用者のニーズを把握するという目的は部局図書館・室にも共通するものであり、当館に与えられた評価は真摯に受け止める必要がある。また、当館独自での利用者アンケートの前例はないため、将来調査が実施される場合、今回の報告がその布石となると考えている。

1.2 概要

調査目的：京都大学全構成員から、図書館に対する意見・要望を広く収集し、その結果を今後の施策の参考とする。

調査主体：京都大学図書館機構

調査単位：京都大学全図書館・室

調査対象：京都大学全構成員

調査期間：平成 20 年 12 月 17 日（水）～平成 21 年 1 月 30 日（金）

調査方法：アンケート用紙および Web

回収方法：当館カウンターに設置した回収箱への投函、または Web による投稿

1.3 回答用紙配付数

文学研究科在籍者の概数(*1)に従い、1,250 枚とした。

内訳：学部生(*2)500 人、修士 250 人、博士 220 人、教員 80 人、職員 100 人

(*1)「京都大学大学院文学研究科・文学部」ホームページ 「総合案内」「沿革」内「現在の概要」を参考にした。 <http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/sogo/enka.html>

(*2)このアンケートは共通教育の授業でも配付されるため、当館が配付対象とする学部生は研究室に配属される 3・4 回生に限定した。

1.4 調査方法

12/17 閲覧室入口・カウンターにポスターを掲示、カウンターに用紙・回収箱を設置、ポップをカウンター・各端末に設置、教務窓口に着用紙を設置（50 枚）、当館ホームページに告知・バナー掲載、事務職員へ着用紙を配付

12/18 院生研究室のメールボックスへ着用紙を配付（700 枚）

12/22 教員へ回答依頼のメール送信・一部教員(*3)へ授業での着用紙配付を依頼（325 枚）

1/16 朝、閲覧席に着用紙を設置（94 席）

1/21 朝、閲覧席に用紙を設置（94 席）、教員のメールボックスへ用紙を配付（93 枚）

1/27 朝、閲覧席に用紙を設置（23 席）

（*3）「平成 20 年度文学部・文学研究科学年未筆記試験・レポート科目一覧表」を参照し、1 月に筆記試験（特に系共通科目）を行なう教員に 20 枚～40 枚程度の配付を依頼した。

1.5 記録

入庫時間延長の検討にあたって利用者のニーズをいち早く把握すること、また文学研究科における有効な広報手段を把握することを目的とし、当館で回収したアンケート用紙について、日毎の回答数と、設問 1 (3)（アンケートの入手経路）および設問 8（自由記述）の回答を記録した。

1.6 報告

2/24 自館記録により、設問 8（自由記述）を集計し、主な意見に対し図書館からの回答をまとめ、当館ホームページおよび閲覧室入口掲示板にて公表した（参考資料にあり）。
教員・研究室に対し、調査協力への御礼・回答数・自由記述意見への回答掲載の旨をそれぞれメール・文書で通知した。

5/15 アンケート WG より送付された CSV データをグラフ化したものと、自館記録（日毎の回答数および入手経路）とを併せて分析した報告書を提出した。

6/2 集計結果の簡易な報告を、閲覧室入口掲示板および当館ホームページにて公表した（参考資料にあり）。